

福生 FUSSA

市議会だより

第 83 号

平成元年 7 月 25 日

発行 福生市議会

東京都福生市本町 5 番地
電話 0425 (51) 1 5 1 1 (代表)



梅雨もあけ
お水じゃぶじゃぶ楽しいな

— 中福生公園で —

議会人事決まる

議長に 仲村 清信氏 副議長に 井上 寅吉氏

平成元年五月十五日、第二回臨時議会が開かれ
ました。今回の臨時会で正副議長の辞職に伴う
選挙が行われ、議長に仲村清信議員、副議長に
は井上寅吉議員が決まり、また、任期満了にな
った三常任委員会委員及び、各種行政委員会委
員（14頁参照）の改選が行われました。

就任にあたって

謹んで御挨拶を申し上げます。去る五月十五日の臨
時会におきまして、不肖私どもが正副議長の要職に就任
することになり、誠に身にあまる光栄に存ずる次第でご
ざいます。

もとより浅学非才でございますが、議会としての団体
意思決定機関の役割と、また執行機関へのチェック機能
も十分果たすべく努力を傾注してまいります。

さて、当市も都市的生活基盤の整備も進み、二十一世
紀に向けた行政推進事業も、ハードからソフトへの転換
期に差ししかかっていると思われれます。そのため当市の将
来像をしっかりと見すえ、市民の皆様に住んでいて良か
ったと言われるような立派な市にするよう理事者共々最
大の努力をいたす決意でございますので、今後よろしく
御支援を賜りますようお願いいたしまして、就任の挨拶
といたします。

第2回 定例会

審議日程

6月	
8日	本会議
9日	本会議
12日	建設委員会
13日	厚生委員会
14日	総務委員会
14日	議会運営委員会
20日	本会議

平成元年六月八日第二回定例会が開かれました。
今回の定例会には、平成元年度一般会計補正予算
（第一号）を初め二十二議案等が提出され、また、
九名の議員から一般質問が行われました。

第一日目 会期を十三日間と定めた後、通告のあった九人の
うち五人の議員から一般質問が行われました。

第二日目 四人の議員の一般質問が終了した後、「陳情書の訂
正願い」を承認し、その後、議案の審議に入り、この日、新た
に提出された「水爆塔載機の水没事故に対する緊急措置を求め
る意見書」を含む二議案を可決し、八議案と陳情一件を各委員
会に付託しました。

また、表彰条例に基づく自治功労表彰等、十議案が同意とな
りました。

第三日目 各委員会に付託されていた議案等の審査報告と新
たに提出された議案の審査が行われ、八議案を可決、陳情三件
を不採択としました。この中で「国民健康保険税条例の一部を
改正する条例」等、二議案と陳情三件については討論が行われ
ました。

また、新たに提出された議案七件と諮問一件につきまして
は、同意及び異議のない旨答申することとしました。

一般質問



第2回定例会では
9人の議員が一般
質問を行いました

指定金融機関の不祥事

実害はなかったか

質問 市の指定金融機関の不祥事件が新聞にも大きく報道され、現在裁判が行われているが、現実的に市への損害はなかったのか。また再発防止について伺いたい。

市長 市民各位に御迷惑と御心配をかけ深くお詫びしたい。埼玉銀行福生支店から派遣されていた元支店長代理が、約五年間に市の預金五億二千六百五十万円余りを不正に着服したもので、五月十日をもってすべて精算されたところである。

埼玉銀行公金横領

福生市長 議会で陳謝

「チェック不備」を認める

福生市議会定例会で、指定金融機関の不祥事件について、市長が陳謝した。市長は「元支店長代理の不正着服による被害は、市の責任が大きい」と認め、再発防止策を講じた。また、被害を受けた市民への対応についても説明した。

市長 銀行を信じ預金残高不証明でチェックしていったために起きたもので、その点深く反省し二度と不祥事が起きないようチェック体制の確立と具体策を講じ、信頼の回復に全力を挙げていきたい。

なお埼玉銀行より指定金融機関の辞退申し

出があり、新たな指定金融機関について十分検討していきたい。

収入役 再発防止のための改善策として、いままでも一般会計等の普通預金口座が、一つの口座であったものを五つの口座に分け、残高照会が容易にできるように、また預金間の振り替えも収入役の指示表により取り扱うこととし、残高証明等も直接銀行の責任者より収入役に提出させることにした。

保険税滞納者には

保険証が届かないが

質問 国民皆保険制度による国民健康保険証の切り替えの際、保険税滞納者には保険証が届いていない状況であるが、国保と市民との関係について伺いたい。

市長 保険税の滞納者に対しては、居住の確認と資格の確認を窓口で交付している。基本的には権利と義務により成り立っており

り、納めるべきものは納めていたが、姿勢でやっていきたい。

市民部長 本年度の切り替え時における対象世帯数は、八千七百十八世帯で、このうち、窓口交付対象となっている千九百九十八世帯中、来庁等で交付したのが五百九十八世帯あり、残りが五百一十世帯となっている。

迷惑駐車に対する 道路管理者の対応は

質問 高層マンションが増加するとともに、周辺道路への迷惑駐車が多くなっているが、道路管理者としての市の対応を伺いたい。

市長 迷惑な路上駐車は交通渋滞を招き、事故が多発しているとともに、生活環境の悪化をもたらしている。そのため取り締り強化を警察署にお願いし、また啓蒙運動等積極的にやっていきたい。

狭い二中の校庭

拡張の対策は何か

質問 第二中学校の校庭が狭くて、体育祭も苦慮しているようであるが、加美平野球場との間の道路を含め、何らかの対策が考えら



少しグラウンドが狭いかな

— 二中で —

れないか。

市長 二百メートルのトラックが確保できれば理想的であるが、この道路も産業道路と柳通りを結ぶ重要な道路であり、公共減歩でできた道路であるので廃止することは困難と思う。近くの野球場やテニスコートの活用をしていただき、今後の研究課題としたい。

市民の人間ドック

経費を市は補助せよ

質問 予防医学の重要性とともに市民の健康管理に対する関心が高まっており、人間ドックの経費を市で補助する考えがあるか。

市長 医師会の御協力により、老健法による基本健康診査を法定以上の診査項目を盛り込んで実施しており、また各種がん検診も無料で実施している、ミニドックに多くの市民が受診されるよう、現施策をより推進していきたいと考えている。

柳通り、多摩橋通りの整備計画の動きは

質問 年々車の数も多くなり、交通安全対策上からも道路整備が急がれる。柳通りやその延長、あるいは多摩橋通りの整備計画の動きについて伺いたい。

市長 柳通りの延長である福生駅東口から原ヶ谷戸交差点にかけての事業化も進展せず、御迷惑をかけているが、この解決策としてこれらの道路を都道として編入した上で整備する考えであり、その努力を今後もしていきたい。

原ヶ谷戸交差点から牛浜北通りまでの整備も、その可能性等につ

道路の位置変更は

市民の立場を考えて

質問 日常使っている道路がある日突然閉鎖され、周辺住民が困ることがある。例として市道一〇九号線に接する私道であり、市民は非常に不便をしている。市の

— 柳通り —
急がれる道路整備だが



いて検討し、多摩橋通りとの関連の中で検討したいと思う。

責任で解決すべきだと思いがどうか。

市長 市道一〇九号線を位置変更したため、現道へは旧道の一部を迂回するようになり、不便を来していることは事実である。新旧道路敷にはさまれた国有農地を、関係者の話し合いを待って道路の一部にしたいと考えている。

一般質問項目

○横田基地について

1、クラーク基地からの移駐のその後について

2、チームスピリット'89と横田基地の関連について

3、E2C等の訓練飛行について

4、沖縄沖への水爆搭載米軍機の水没について

5、基地カーニバルについて

6、三〇五期期の離着陸数について

○指定金融機関の不祥事について

1、事件の経過について

2、市長の見解と今後の処理について

○国民健康保険について

保険証の取り上げについて

○横田基地について

1、E2Cの訓練飛行について

2、クラーク基地からの移駐について

3、空母タイコンデロガの水爆搭載機の水没事故について

4、テレビ受信料の全域免除について

○校庭の拡張について

第二中学校の校庭拡張と市道の廃止等について

○駐車対策について

迷惑な路上駐車車の対策について

○横田基地について

1、クラーク基地からの移駐の現状及び今後の対策について

2、E2Cの離発着訓練に伴う飛行騒音について

○都市基盤整備について

原ヶ谷戸地区の道路整備について

○福祉行政について

老人福祉施策の充実について

○市民のための保養施設設置について

その後の経過について

○健康管理施策について

人間ドックに対しての補助金を出す考えについて

○道路行政について

生活道路の改善について

○福祉問題について

1、れんげ作業所の今後の対応について

2、ひまわり作業所について

3、障害児保育について

○横田基地前商店街について

国道一六号線沿いの商店街開発について

○基地問題について

1、核持ち込み疑惑の解明について

2、E2C飛行訓練の中止行動について

3、フィリピンからの部隊移駐の経過について

○中学校給食について

審議会発足と諮問内容について

○基本構想について

進行状況について

○福生駅自由道路について

雨もりの原因と対策について

○在宅福祉の将来展望について

1、在宅ケアの必要性と将来展望について

2、高齢者がふえている中で、今後市としてのビジョンについて

○防音対策について

1、公民館の防音について

2、小ホールの防音について

○福祉対策について

1、障害者等の諸通所施設について

2、ボランティア活動について

3、福祉の店について

○災害対策について

救急・救護員の養成について

○観光行政について

観光センター設置の考えはないか

○公園建設について

加美地区内の児童遊園設置の考えについて

○横田基地について

1、E2C低空飛行訓練と騒音対策について

2、核持ち込み疑惑に対する市長の考えと今後の対応について

3、一〇五期までの軍用機による離着陸等の調査結果について

○保育行政について

産休明け保育の実施について

○指定金融機関の不祥事について

市長の考えと今後の対応方について

老人福祉施策の

順次充実の考えは

質問 老人福祉施策を充実する必要性を以前から主張してきたが、各市の施策と比較し、当市でも実施しやすい施策から充実する考えはあるか。

市長 高齢者が生きがいを持って生活できるように、他市の施策と比較検討する中で諸施策を実施している。今後もニーズの把握に努め、財政事情等を考慮しつつ検討していきたい。

基地側に商店街を

形成する考えは

質問 国道一六号線沿いの商店街も立派に整備されたが、現在片側だけの商店街となっているのを、基地側にも商店街を形成する考えについて伺いたい。

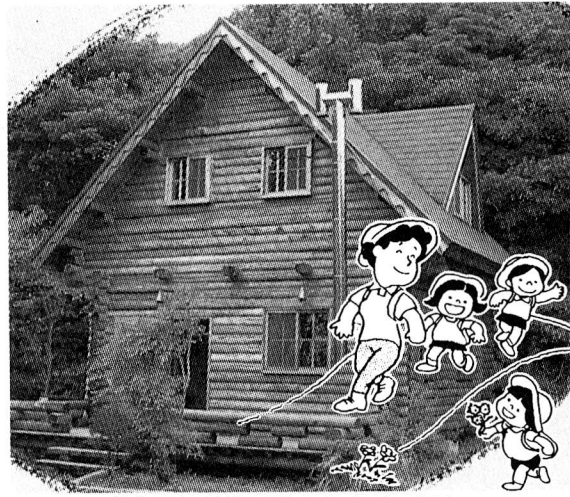
市長 国道一六号線沿いの商店街が、その活性化に取り組んでおり期待されている。これが両側に商店街が実現されると相乗効果が大きく期待がもたれるが、基地側ということもあり一つの御提言と受けとめたい。

保養施設の設置について

その後の動きは

質問 市民のための保養施設の設置を以前から質問してきたが、

プロジェクトチームの報告後の動きを伺いたい。



「今日はここに泊まるんだって」

市長 昨年六月のプロジェクトチームの結果報告によると、保養所の維持、管理、運営等に課題が多いため、当市の場合には広範囲に効率的に利用できる旅館等と契約し、利用者に助成する制度が考えられるとの報告である。

今後の総合計画の見直しをする中で、基本的な点の対応を検討しなければならないと考えている。

障害児保育の実態はどうなのか

質問 精神障害者のための訓練施設として、ひまわり作業所ができて一年が経過したが、市としての今後の対応と、障害児保育の実態

市長 関係者の御理解と御協力で一周年を迎えたが、都の補助金も本年度は一千二十一万円余りとなっている。また市も本年度は三百万円余りを予算化した。今後十分配慮していきたい。

障害児保育加算補助金の関係で、この実態を把握するのは極めて困難であるが、本年度は三名分を予算化した。現在は民間保育所に二名措置している。

中学校給食審議会の初会議の内容は

質問 中学校給食の審議会も設置され会議も開かれたようだが、その内容を聞きたい。

教育次長 中学校給食の是非について教育委員会より諮問をし、五月二十七日に初会議を開いた。委員は学校長、教員、PTA、知識経験者ということで選出願ったが、当日は正副委員長の互選後、今後の運営方法を協議願った。

保留地を利用して児童遊園の造園を

質問 加美平三丁目の羽村町との境に、三角形の区画整理の保留地があるが、これを利用して児童遊園ができないか。

市長 御指摘の近辺には、西児童公園、天神児童遊園もあり、またこの用地は公社が所有し、今後の建設事業との関連もあるので、今後十分検討していきたい。

議会日誌

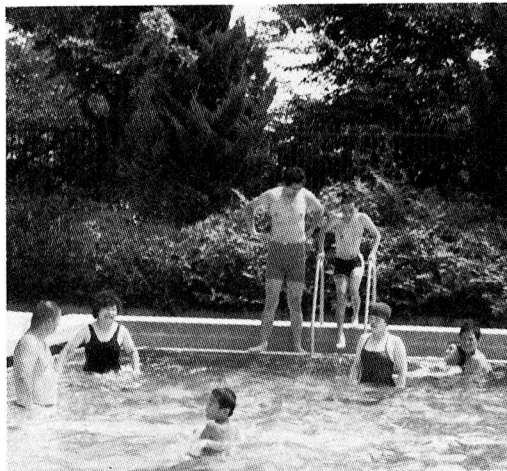
31日	29日	22日	18日	15日	5月	1日	28日	26日	21日	20日	18日	14日	11日	4月
全国市議会議長会総会	多摩地域都市モノレル等建設促進協議会総会	線促進協議会総会	三鷹・立川間立体化複数促進協議会総会	第二回臨時議会	設促進協議会理事会及び総会	三多摩上下水及び道路建設促進協議会理事会及び総会	東京都三多摩地区消防運営協議会総会	関東市議会議長会定期総会(27日まで)	東京都市議会議長会正副会長会議	東京都市議会議長会正副編集会議	施設局陳情	基地対策特別委員会防衛事・相談役会議	基地協議会正副会長・監事・相談役会議	東京都市議会議長会臨時総会

れんげ作業所の 今後の対応は

質問 障害者の作業所であるれんげ作業所に通所している障害者の障害内容と、今後精神と身体障害別の施設を建設する考えがあるか。

市長 七年前に開設されたが、今後の入所予定者の動向と実習生の対応を図るべく移転、改築等を考えている。

法体系によって障害に応じた施設も必要と思うが、関係者の話だと、障害の違いがあってもお互いに認め合い、協力し合うことが大いにプラスになっているというところである。御指摘の点について今後研究していきたい。



天気もいいし、今日は最高
—れんげ作業所の仲間達—

福祉部長 通所者は十六名で、身体障害者手帳が四名、愛の手帳が七名、重複されている方が五名となっている。

議会側からの意見 構想にどう反映されるか

質問 基本構想審議会が発足したが、その審議状況と議会側の意見の反映について伺いたい。

市長 現在まで六回の審議会が開かれ、八月を目途に答申が出される予定で進んでいる。討議内容は、上位計画と近隣市町の計画状況、当市の現況と問題点等について討議されており、九月には素案を提示して議会の御意見を拝聴し

人事

人権擁護委員候補者に
並本一男氏を推薦

十二月中旬で任期満了となる同委員の候補者の推薦を市長より提案されたため、議会では並本一男氏（福生一、〇三八）を適任者として全員一致で推薦しました。

た上で、十二月議会に提案したい。

防音措置がないので

練習も十分にできない

質問 公民館の音楽室は、防音措置がなされていないため、練習も思うようにできないということである。また小ホールも音が外に漏れ、支障を来すこともある。これらの対策を伺いたい。

教育次長 市民会館も建設して十二年余り経過するが、音楽室も開放感をもたせるための構造になっているため、防音措置がとられていない。また小ホールも大きな音のする催物は御遠慮願っているが、今後のニーズを考え、どの程度の対策がとれるか調査をしたい。

6月

2日	議会運営委員会
8日	基地対策特別委員会
9日	第二回定例会（一日目）
12日	第二回定例会（二日目）
13日	建設委員会
14日	厚生委員会
16日	総務委員会
20日	議会運営委員会
23日	第二回定例会（三日目）
27日	基地対策特別委員会
28日	都議会議員選挙告示
30日	都市収益事業組合議会
	都市下水路組合議会
	西多摩衛生組合議会
	瑞穂斎場組合議会

議員表彰

全国、関東の各市議会議長会では、議員として永年地方自治に功績のあった方々を表彰しております。

今年度においては、次の議員が表彰されました。

全国議長会及び関東議長会	正副議長四年以上
村尾 栄次	議員十年以上
遠藤 洋一	仲村 清信
小野沢 久	

救護員の確保、養成をし 災害時の対策に備えろ

質問 災害時に最も急を要するのが人命救助であり、そのための救護員の確保や養成が大切と思うが、今後の対応を聞きたい。

市長 市内三十五地域に自主防災組織があり、リーダーの役割として応急救護の任務がある。昨年消防署の協力で講習会を開き、今年も消防団で救護訓練を実施したが、一人でも多くのリーダーを養成するための講習会を引き続き実施したい。

豪雨の際の 雨もりの原因と対策は

質問 五月三十日の夕方の豪雨で、福生駅の自由通路の階段に多量の雨漏りがし、通勤通学者に迷惑をかけたが、その原因と対策はどうであったのか。

建設部長 原因はハトの糞が極につまり、雨もりがあったが、今後は定期的に清掃等を行い、二度とこのようなことが起きないように努力していきたい。



ポツポツポ、ハトポツポ なんて言っではいられない

本会議場における討論の概要

福生市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

賛成討論 本改正は地方税法の改正に伴うもので、公的年金所得の課税方法を雑所得として課税するものである。

当市の年金受給者の年金額は180万円前後が八割と推定され、仮に本議案が可決された場合、従来に比べ、年間220万円の年金受給者の保険税への影響は100円の増、230万円としても1,600円の増である。

国の調査では被保険者1人当たりの保険税は53,868円で、これに対し国民1人当たりの医療費は147,800円であって、こうした現況を鑑みても本改正は妥当である。

反対討論 本条例の一部改正は、保険税を値上げしようとするものである。

従来、年金所得は給与所得とみなされていたが、この改正により雑所得となる。給与所得だと65歳以上の方には一律78万円の老年者年金特別控除が認められていたが、雑所得となると、この控除がなくなる。

その結果、年金額が同じでも控除がなくなったため、その分保険料が値上りするものである。

国民皆保険制度の主旨からも本改正には反対である。

以上のほかに、次の議案等に対し反対・賛成の討論がありました。

- 議案第48号 平成元年度福生市一般会計補正予算（第1号）
- 陳情第63—16号 リクルート疑惑の全容解明を求める陳情書
- 陳情第1—6号 リクルート疑惑解明に関する陳情書
- 陳情第1—8号 消費税廃止の意見書採択を求める陳情書

今後もより一層の

福祉行政の拡充を

質問 ① 高齢化

社会の進展とともに、老人をめぐる諸問題が増大しつつあるが、今後の在宅ケアシステムの充実等について伺いたい。

② 福祉サービスを受ける場合、内容によっては市役所や社会福祉協議会が窓口となっているが、効率的なサービスが受けられるよう施設や体制づくりが必要と思うがどうか。

市長 ① 世界に例を見ない速度で高齢化が進み、介護を必要とする老人ニーズの対応が重要課題となっている。在宅ケアの必要性も十分認識しており、地域や関係機関等の協力も必要となってくると思うので、今後も力を注いでやっていきたい。

② 健康で安定した豊かな老後を誰もが望むことは当然である。現行の福祉サービスの拡充を図る



今日のメニューは エート
—給食宅配サービス—

ため、各関係機関等との連携を密にし、御協力をいただきながら努力していきたい。

議会を傍聴

しましょう

次の定例会は

9月です。

ボランティア活動の システム化を

質問 ① 通所訓練

施設のれんげ作業所が開設されて七年余りになるが、事業実態は授産事業であり、こうした施設の今後のあり方を伺いたい。

② ボランティア活動は短絡的なサービスを事業化することではなく、真に住民主体のものでなければならぬ。今後のボランティア活動を社会的活動とするためのシステム化の考えがあるか。

③ 障害を持つ人は、健常者以上に努力をし社会へと出ていく

が、しかし、その受入体制は貧弱である。そこで障害者の方々には福祉の店を運営させ、夢と希望を与えてはどうか。

市長 ① 障害者の機能に応じた施設であるとともに、福祉のニーズに対応できる通所施設の必要性を認識する中で、あらゆる角度から十分研究していきたい。れんげ作業所も今後増員が見込まれるので、移転、改築をしたいと思っている。

② 地域福祉の進展にとって、ボランティア活動の役割は大きな存在である。当市には十団体、個人を含め約三百人の方に御協力を願っている。社会福祉協議会を通じて、地域福祉の前進のためボランティアの育成強化を図っていき



力を合せて快汗

いとでんわの人達と一

い。③ 現在、福祉関係団体とも協議をして進めており、公共施設等の改築時には開設ができるようさらに研究していきたい。

働く女性のために

産休明け保育の充実を

質問 女性の働く権利の保障とともに、産休明け保育の充実が必要となっているが、ゼロ歳児の実態等を含め、検討して得た内容を聞きたい。

市長 今年四月から無認可のありんこ共同保育所が、補助対象施設となったが、今後も公・私立の保育協議会と十分協議しながら研究していきたい。

福祉部長 六月一日現在の待機児は、ゼロ歳児が三名、一歳児が九名、二歳児が一名等、計二十一名となっている。

不祥事件に対する

減給の考えは

質問 市の指定金融機関の不祥事に対する対策と減給の考えについて伺いたい。

市長 二度とこのような不祥事が発生しないよう、チェック体制の確立を図り、照合が容易にできるよう具体策を講じ、信頼回復に全力をあげたい。

臨時会において、三役の減給処分をもって、はじめとさせていた。

観光・物産センター

設置の考えは

質問 当市は観光資源が乏しいが、資源を生み出すことも必要で

ある。そこで観光センターなり物産センターを設置して、商業振興を図る考えはあるか。

市長 新たな資源開発や、市のイメージアップとまちづくり等に

E2C飛行訓練中止を要請

去る四月十九日から五月末にかけて、米空母ミッドウエー艦載機のE2Cが連日連夜、低空で飛行訓練をし、市民の皆様には大変な迷惑をかけ、この期間中に百件以上もの抗議や苦情が市に寄せられました。

私も市議会としても、市民の受忍限度にきているということで議会内部に組織されている横田基地対策特別委員会(赤星行人委員長、在原 博副委員長)で種々協議を願い、次の要請書を携え、七月四日に防衛施設庁等の要人に直接会って、今後実施しないよう強く要請してまいりました。

米空軍横田飛行場におけるミッドウエー艦載機の飛行訓練中止に関する要請書

福生市に所在する米空軍横田飛行場は、首都圏東京の多摩地域における人口密集地に所在するとともに、当市の行政面積の三分の一を提供しているため、長年にわたって市行政推進に大きな隘路となっている現状であります。

また、フライリビンのクラーク基地からの部隊移駐問題に対して再三にわたり中止要請をしたにもかかわらず、これが実施され、その上、この度実施されたミッドウエー艦載機のE2C機による、無通告を含めた長期間にわたる市街地低空の飛行訓練

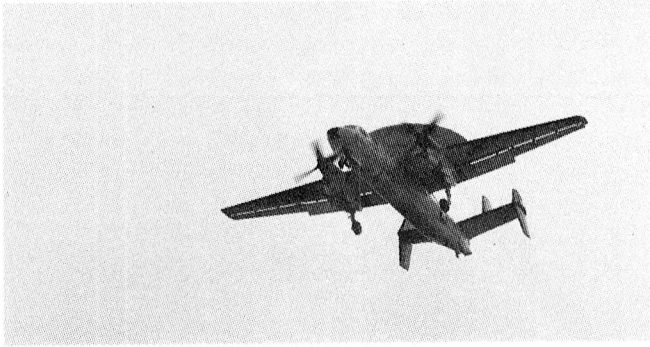
つながるような観光開発を図るため、現在、観光協会を設立するための発起人会ができた。観光センター等もこの中で研究、検討したいと思う。

福生市議会議長

仲村 清信

横田基地対策特別委員会委員長

赤星 行人



米航空母艦ミッドウエーの艦載機E2C(対潜哨戒機)の離発着訓練

横田基地の諸問題

どう対応したか

質問 ① フイリピンのクラーク基地からの部隊移駐は、どの程度行われ、今後の予定はどうか。

② 本年も米韓合同軍事演習、チームスピリット'89が行われ、各種攻撃機が横田基地に飛来して来たが、中止要請の考えは。

③ E2Cの飛行訓練が低空で行われたが、市ではどう把握しているのか。

④ 米空母から水爆を塔載した戦闘機が、水没した事故があったが、この問題に対する市の対応を伺いたい。

⑤ 去年は基地カーニバルが中止となったが、それまでは展示飛行と称して、危険で、ひどい騒音の曲技飛行が行われた。今年も去年と同様に中止をするよう要請する考えがあるか。

⑥ 三月～五学期までの離着陸数について伺いたい。

市長 ① 六月一日現在、軍人が二百四十四名、家族が八十五名移駐し、C9三機は九月末までに

移駐の予定である。C130の第二一戦術空輸飛行中隊の移駐計画は、米政府の予算要求の段階であり変化はない。

② 中止要請の考えはないが、騒音や事故防止に万全を期すよう申し入れた。

③ 五月十六日から十八日まで飛行訓練する旨、国から八日に通告があり、その時点で中止要請をし、十日には近隣市町長名で中止要請をした。また十五日には、二十三日から二十六日まで訓練する旨の通告があり、直ちに中止要請をした。通告外も含め六日間実施され、飛行回数は七百四十八回、最高九十一ホーン、市民からの苦情が百十二件に上った。

延べ十五日間の訓練期間中、十三回の中止要請をしたが、結果として実施されたことは誠に遺憾なことと考えている。

④ 六月一日四市二町で事実関係を速やかに究明するとともに将来にわたって国是としての非核三

原則を厳正に遵守するよう、防衛庁並びに外務省に強く要請した。

⑤ 今年は八月十九日、二十日に開く予定で、その内容は不明である。このカーニバルは、日米親善の効果もあり、定着した行事と思うので中止要請の考えはない。展示飛行がある場合は、極力危険な飛行を避け、安全対策に万全を期すよう申し入れたい。

市民部長 ③ 訓練飛行日数が十五日間、時間にして二十八時間四分となっている。

⑥ 三月は本年が千六百五十六回、前年が千五百三十三回で百二十三回の増、四月が本年千二百五十七回、前年が千四百三十一回で百七十四回の減、五月が本年千四百六十八回、前年が千七百三十一回で二百六十三回の減である。

もう、お断り

分散訓練の対応を

質問 ① クラーク基地からの移駐も、これ以上はお断りという気持である。反対要請の内容はどうであったか。

② 今回のE2Cの飛行訓練は、日数や回数とも市民の受忍限

度を超えたものである。近くには自衛隊の入間基地もあり、分散すれば騒音も半減すると思うがどうか。

市長 ① 昨年来より、これ以上基地が拡充強化されることは、住民感情として容認することはできないということから、国に対して中止要請をしてきた。しかしこの計画は安保条約に基づき実施されるもので、中止は困難な状況であるが、今後も引き続き中止要請をしていきたい。

② 再三の中止要請にもかかわらず実施され、市民の皆様にも多大な御迷惑をかけ誠に遺憾なことと考えている。

厚木基地での訓練が飽和状態となり、E2Cの訓練が横田基地で行われるようになったわけである。自衛隊基地と米軍基地で分散して訓練することも従来から提案してきたが、先般硫黄島での離発着訓練を実施するための整備計画が合意され、平成四年度までに完了することになった。したがってこの時期が横田基地での訓練をやめさせるチャンスと考え、引き続きねばり強く要請していくことが重要と考えている。

水爆塔載機の事故

市はどう対応したか

質問 ① E2Cの訓練飛行が恒常化され、市民の間に危機感が出ている。こうした訓練に対する市の対応と、騒音測定器の増設について伺いたい。

② 水爆塔載機の水没事故は衝撃的な事故であり、核持ち込みの疑惑が深まるばかりである。この事故の対応と基地への立入調査の考えは。

③ 一月から五月までの離発着数の調査結果について、各月の十日単位で数値を伺いたい。また深夜のエンジンテストの回数も、わかればお伺いしたい。

市長 ① 四月十九日から延べ十五日間実施され、無通告を除き六日間で七百四十八回、最高九十一ホールであった。この間政府に中止要請をしてきたが、結果として実施され遺憾と考えている。

騒音測定は国に対する要請活動の資料として行っているが、リサイクルセンターでの測定が確実であり、大きな意味を持っていると考えている。今後の状況を見て固定装置の必要性等を検討したい。

② 国の責任で事実関係を速やかに、かつ適正、厳正に究明すべきであり、国是として非核三原則を遵守するよう、周辺市町の連名を要請した。なお基地への立入調査の要請等は考えていない。

については、飛行機だけでなく自動車等の騒音も測定されるので可能である。

クラーク基地からの

移駐状況は

市民部長 ③ 今後各月の上中下旬に分けて報告できるようにしたい。またエンジンテスト測定に

質問 ① 米空母から水爆塔載機が水没した事故について、判明

水爆塔載機の水没事故に対する

緊急措置を求める意見書

去る五月八日の米誌「ニューズウィーク」は、一九六五年十二月、沖縄諸島の東方の太平洋でベトナム沖から横須賀に向かっていた米空母タイコンデロガから水爆を塔載した艦載機が転落、水没したと報じ、国民に大きな衝撃を与えている。

核兵器は、第二次世界大戦において広島市及び長崎市に投下された原子爆弾の被害に見られるように、一瞬にして数十万人の尊い人命を奪っただけでなく、今日に至るまで、なお放射線の障害作用による病気等で数多くの人々を苦しめている実情にある。

また、放射能汚染事故は、ソ連チェルノブイリ原子力発電所の事故でも明らかのように、北ヨーロッパを広範囲にわたって汚染し各国国民を恐怖に陥れている。

このように核兵器や放射能汚染は、人類の生存に深くかわる問題であり、市民はこのたび明らかになった水爆塔載機の水没事故に対し強く不安を抱いている。

よって、本市議会は、市民の生命・財産を初め、生活環境を守る立場から左記事項が速やかに措置されるよう強く要請する。

一、米政府に対してさらに詳細な継続調査を求め、水爆を回収撤去し真相を明らかにするよう働きかけること。

二、政府においても日本独自の海洋調査を行うなどして、国民の不安を解消するための対策を立てること。

三、非核三原則厳守の立場を明確にし、日本への核持ち込み禁止の具体的な措置を講ずること。

(この意見書は、内閣総理大臣、外務大臣、防衛庁長官に送付しました。)

後の行動について伺いたい。

② 今回のE2Cの訓練は非常にひどかったが、市の対応はどうであったのか。

③ ファイリビンのクラーク基地からの移駐状況を伺いたい。

市長 ① 政府の責任において事実関係を速やかに、かつ厳正に究明すべきであり、国是としての非核三原則を遵守するよう、政府に要請すべきであると考え、周辺の四市二町で行った。

② 今回は十五日間にわたって実施されたが、この間十三回にわたり中止要請や無通告への抗議を関係機関に行った。

この訓練が硫黄島で実施される時が、横田基地での訓練をやめさせる最大のチャンスと考え、今後も粘り強く中止要請をしたい。

③ 六月一日現在、軍人が二百四十四名、家族が八十五名の計三百二十九名、C9三機については、九月末までに移駐する予定ということである。C130関係の第二一戦術空輸飛行中隊の移駐計画は、予算要求の段階で変化はないということである。また中止要請も基地司令官や防衛施設庁に強く要請している。

E2Cの訓練の

苦情内容は

質問 ① E2Cの訓練は、中止要請の効果も上がらず、まさに音の暴力である。市民の苦情内容はどんなものであったのか。

② 国際的に軍縮が進む中で、日本の横田基地だけが増強され大きな不安と疑問を持つ。クラーク基地から移駐した各部隊の内容を聞きたい。

③ 米空母の水爆塔載機の水没事故は、基地を抱えた市民にとって大きなショックを与えたが、市の対応と考えを伺いたい。

④ テレビ受信料は、市内の約七五％が半額となっているが、E2Cの飛行訓練や移駐問題を考えれば、市内全域を減免すべきだと思ふがどうか。

市長 ① 延べ十五日間実施され、市民から百十二件もの苦情が来ている。

② 五部隊のうち、第六〇〇空軍音楽隊は移駐が完了し、第九航空医療救難飛行隊と、第二〇航空医療空輸飛行隊は、兵員だけが完了、第一八三七電子機器設置隊第一派遣隊と太平洋通信師団分遣

隊A班は、兵員と家族の一部が移駐、C9三機は九月末までに移駐ということである。

六月一日現在、軍人が二百四十人、家族が八十五人移駐した。

③ 十九年前とはいえ、市民の皆様には大きな驚きと不安を与えたことは御指摘のとおりであると考え、事故の厳正な究明と、国是としての非核三原則を厳守するよう、周辺の四市二町で国に対し要請した。

④ 従来から市内全域の減免を

陳情・請願

▽ 不採扱 △

○陳情第六十三―十六号 リクルート疑惑の全容解明を求める陳情書
羽村町一、九〇五

岩本 寅次氏他五団体
―昭63・12・2提出―

○陳情第一一六号 リクルート疑惑解明に関する陳情書
立川市曙町二―一五―二〇

森川 隆志氏他一団体
―平元・3・3提出―

○陳情第一一八号 消費税廃止の意見書採択を求める陳情書
羽村町羽一、九〇五

―昭63・3・7提出―

要望してきたが、基地から一キロメートルという規定があり困難な状況であるが、今後も強力な運動をしていきたい。

総務部長 苦情の主な内容は、やめてほしい、子供が眠れない、低空すぎてテレビが見れない、国の人も経験すべきだ、防音工事をしてほしい、署名運動を起こしたらどうか、中止要請はしているのか、家族との会話ができない、時を早めてほしい、このような内容であった。

岩本 寅次氏外十五団体
―平元・6・1提出―

▽ 継続 △

○陳情第六十二―二十一号 三宅島米空母艦載機夜間離着陸訓練基地建設画に関する陳情書
三宅村坪田一、七七四

持丸 教能氏
―昭62・12・9提出―

○陳情第六十三―三号 国庫負担を減らし、自治体と被保険者の負担増をもたらず国民健康保険法の改悪に反対する陳情書
福生市福生一、一四二―一六

沢本 早苗氏
―昭63・3・7提出―

○陳情第一一一号 年金制度改悪に反対する意見書採択を求める陳情書
秋川市油平二四二―一

遠藤 寿雄氏
―平元・2・20提出―

○陳情第一一二号 国民健康保険に関する陳情書
羽村町羽一、九〇五

岩本 寅次氏
―平元・2・27提出―

○陳情第一一三号 年金制度の改悪をやめ、改善を求める陳情書
羽村町羽一、九〇五

岩本 寅次氏
―平元・2・27提出―

○陳情第一一七号 年金制度改革に関する陳情書
立川市曙町二―一五―二〇

森川 隆志氏他一団体
―平元・3・3提出―

第二回臨時会において編集委員になりました。

今後皆さんに親しまれ、読みやすい市議会だよりを目指し頑張ります。よろしくお願ひします。

- 委員長 村野和一郎
- 副委員長 齋藤 巽
- 委員 野口秀世、松山 清
- 委員 上野重勝、林田 武
- 委員 遠藤洋一、堀川 實

議会選出議員・各種行政委員一覽表

◎委員長 ○副委員長 (平成元.5.15現在)

区 分		氏 名	
常任委員会	総務委員会	◎林田 武一 遠藤 洋一	○南木 繁男 赤星 輝夫
	建設委員会	◎野口 秀世 小野沢 久	○浜中 輝夫 堀川 實
	厚生委員会	◎上野 重勝 原 敏子	○須釜 亮次 齋藤 巽
議会運営委員会		◎村野和一郎 松山 清	○齋藤 巽 遠藤 洋一
横田基地対策特別委員会		◎赤星 行人 小野沢 久	○在原 博 指田 保雄
一部事務組合	瑞穂斎場組合議会議員	須釜 亮次	佐藤 慶二 井上 寅吉
	西多摩農業共済事務員 組合議会議員	田村 正秋	浜中 輝夫
	青梅・羽村・福生地区 都市下水道組合議会議員	仲村 清信	宮沢 良一 村尾 栄次
	西多摩衛生組合議会議員	仲村 清信	齋藤 巽 東田 正治
	東京都三多摩地域廃棄物 広域処分組合議会議員	村尾 栄次	
	東京都市収益事業組合議会議員	在原 博	東田 正治
各種行政委員会	民生委員推せん会	上野 重勝	
	福生市国民健康保険運営協議会	上野 重勝 原 敏子	東田 正治
	福生市都市計画審議会	仲村 清信 小野沢 久	野口 秀世 堀川 實 浜中 輝夫 宮沢 良一 田村 正秋 村尾 栄次 在原 博
	福生市駐留軍関係離職者等 対策協議会	大森 進	宮沢 良一
	福生市青少年問題協議会	林田 武	南木 繁男 松山 清 遠藤 洋一
	福生市農地課税審議会	村野和一郎	
	福生市特別土地保有税審議会	堀川 實	
	福生市育英資金運営審議会	仲村 清信	林田 武
	福生市史編さん委員会	仲村 清信	林田 武 野口 秀世 上野 重勝
	福生市交通安全対策協議会	仲村 清信	林田 武 野口 秀世 上野 重勝
	福生市基本構想審議会	宮沢 良一	村尾 栄次
	福生市表彰審査委員会	仲村 清信	井上 寅吉 林田 武 野口 秀世 上野 重勝
	福生市ゴミ減量推進協議会	仲村 清信	井上 寅吉 上野 重勝 須釜 亮次 大森 進 佐藤 慶二
	福生市社会福祉協議会	上野 重勝	
	福生市社会福祉協議会 れんげ作業所運営委員会	上野 重勝	
	在宅老人福祉地域ケア システム化推進委員会	上野 重勝	
	三多摩上下水及びび道路 建設促進協議会	仲村 清信	(第一) 小野沢 久 (第二) 田村 正秋 (第三) 堀川 實
	多摩川上流流域下水道 事業対策協議会	仲村 清信	野口 秀世
	大多摩観光連盟	仲村 清信	
	八高線電車化促進期成同盟会	仲村 清信	
三鷹・立川間立体化 複々線促進協議会	仲村 清信	林田 武	
多摩地区離職対策 連絡協議会	井上 寅吉		
東京都三多摩地区 消防運営協議会	仲村 清信		
八高線八王子・高麗川間 複線電化促進協議会	仲村 清信		
首都圏中央連絡道路 建設促進協議会	仲村 清信		
多摩地域都市モノレール 建設促進協議会	仲村 清信	野口 秀世	
西多摩地域広域行政 協議会	仲村 清信		
監 査 委 員	指田 保雄		